

第4回 JNC 原子力平和利用国際フォーラムの開催結果について

平成 15 年 2 月 25 日
核燃料サイクル開発機構

1. 概要

今回のフォーラムは、「原子力の平和利用技術による核不拡散への国際貢献」と「次世代の原子力システムの研究開発と国際協力」を主なテーマとして、米国、仏国、国際原子力機関(IAEA)及び国内関係者の参加を得て、招待及び特別講演と2つのパネル討論を実施した。

藤家原子力委員長からは「次世代原子力システム及び核不拡散における新法人の役割」と題して招待講演をいただき、プルサーマルの実施により軽水炉サイクルを確立し、更に高速炉サイクルへの移行を目指し研究開発を進めるといふ我が国の原子力政策が不変であること、サイクル機構と原研の統合に伴い発足する新法人の役割が重要であることが強調された。

また、在日米国大使館公使からは「核不拡散及び原子力の平和利用に関する日米協力」をテーマに特別講演をいただき、日米間のこれまでの研究協力の評価と新法人発足後もそれが継続・発展することへの期待が述べられた。

両パネル討論では、最近のイラク・北朝鮮の問題など、核不拡散問題への国際的な関心が一層高まっている時期に、「解体核支援」など機構の核不拡散への技術的貢献をアピールすることができ、今後の研究開発の実施について国際的な理解が得られていることが確認できた。また、米国など諸外国の次世代原子力の開発内容を確認すると共に、わが国が目指す開発目標としての「FBR 実用化戦略」等を具体的に示した。今後の研究開発において国際協力の重要性和わが国の役割の重要性について確認できたことは有意義であった。

なお、先般のもんじゅ行政訴訟に係る高裁判決に対する経緯等の説明を行ったところ、諸外国の参加者からもんじゅが国際的に重要であること、その運転再開を期待し、サポートするとの発言があった。

全体を通じて、原子力平和利用の技術開発による核不拡散への貢献と、将来の技術開発における「FBR 実用化戦略」やもんじゅの重要性、及び各分野での国際協力の重要性が再認識され、時宜を得たフォーラムとなった。得られた成果は、今後のサイクル機構の業務に反映する共に統合準備作業の参考としたい。

2 . 開催要領と結果

(1) 開催要領

日 時：平成 15 年 2 月 13 日(木)～14 日(金)

場 所：科学技術振興事業団 日本科学未来館 (MeSci)

後 援：原子力委員会、文部科学省、経済産業省

ﾌｫﾛﾑ：別添資料 1 参照

(2) 参加者数

13 日、14 日の 2 日間でのべ約 320 名

以 上

第 4 回 JNC 原子力平和利用国際フォーラム
プログラム

| 日時：2003 年 2 月 13 日(木)、14 日(金) 場所：東京、日本科学未来館(MeSci) みらい CAN ホール 主催：核燃料サイクル開発機構 (JNC) 後援：原子力委員会、文部科学省、経済産業省 | | | |
|--|------------------------------------|--|---|
| 日 程 | セッション | 講演テーマ・構成 | 講演者及びパネリスト |
| 2/13(木) 10:00 ~ 10:10 | 開会挨拶 | | 都甲泰正(JNC 理事長) |
| 10:10 ~ 11:00 | 招待講演 | 「次世代原子力システム及び核不拡散における新法人の役割」 | 藤家洋一(原子力委員長) |
| 11:00 ~ 11:20 | 特別講演 | 「核不拡散及び原子力の平和利用に関する日米協力」 | トーケル・パターソン (米国大使館公使、大使上級顧問、前米国大統領特別補佐官) |
| 11:20 ~ 11:40 | | 「『もんじゅ』行政訴訟判決について」 | 中神靖雄(JNC 副理事長) |
| 昼食 (11:40 ~ 13:30) | | | |
| 13:30 ~ 17:00 | セッション 「原子力の平和利用技術による核不拡散への国際貢献」 | 1) 講演 「国際保障措置の現状と将来」 「IAEA と国際保障措置に対する米国の役割」 「余剰核兵器解体プルトニウム処分に関するサイクル機構の活動」 | 座長：金子熊夫(外交評論家) ピエール・ゴールドシュミット(IAEA 保障措置担当事務局次長) ロナルド・C.チェリー(US-DOE/NNSA 国際保障措置部長) 大和愛司(JNC 理事) |
| コーヒープレイク(15:00 ~ 15:15) | | | |
| | | 2) パネル討論 | 講演者 3 名の他に 栗原弘善((財)核物質管理センター専務理事) |

| | | | |
|----------------------|----------------------------------|--|--|
| 2/14 9:30 ~ 12:30 | セッション 「次世代の原子力システムの研究開発と国際協力」 | 1) 講演 「Gen - IV の成果と今後の展望」 「フランスにおける次世代炉システムの研究開発」 「FBR 実用化戦略調査研究の成果と今後の計画」 | 座長：秋山守（(財)エネルギー総合工学研究所理事長） ゲール・マーカス (US-DOE 科学技術局首席次長) ジャック・ブシャール (仏国 CEA 原子力開発局長) 相澤清人(JNC 理事) |
| | | | ブレイク(11:00 ~ 11:10) |
| | | 2) パネル討論 | 講演者 3 名の他に 早田邦久(JAERI 理事) |